

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領株主
確定日 3月31日
なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。

定時株主総会 毎年6月

株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行います。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが
できないときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>

株主名簿管理
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
（お問合せ先） 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）（証券代行事務センター）
電話03(3323)7111（大代表）

同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話および
インターネットでも24時間承っております。

電話 ☎ 0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



車と社会の未来を
グローバルに創造する

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>



R100
古紙配合率100%再生紙

43rd

第43期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

weds

 CO.,LTD.
株式会社ウェッズ

証券コードNo.7551

● トップメッセージ

経営理念

「ウェッジの永遠のテーマ、それはCHALLENGEです。私達は人と車の未来に向けて、常に新しく価値ある商品を創造し社会に貢献します。」

経営指針

「私達は、お客様最優先の営業方針と会社・株主・社員三位一体の取り組みにより、会社の繁栄と安定を追求して、株主利益の向上と社員のライフプラン充実に努めます。」



代表取締役社長 川口 修

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社の第43期中間報告書をお届けいたします。

当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績が設備投資を牽引して引き続き緩やかな改善基調にありますが、米国金融問題の影響により景気は先行き懸念される状況で推移しています。

当社グループと密接な関係にある自動車業界では、上半期の新車販売台数が軽自動車を含めて前年割れとなり、アフターマーケットにおける自動車用品の販売動向も低調に推移しました。

このような環境において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めましたが、前年度の記録的暖冬によって春需展開がかつてなく遅れ、アルミホイール等の売上が落ち込んだため、当中間連結会計期間の売上高は8,897百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は△42百万円（前年同期は148百万円の営業利益）、経常利益は44百万円（前年同期比74.0%減）、中間純利益は17百万円（前年同期比84.3%減）となり、関係子会社貢献等により収益拡大した前中間連結会計期間と対比すると減収及び大幅な減益となりました。

通期の見通し

通期のわが国経済の見通しは、米国経済の悪化や円高・原油高等の懸念材料によって持続的な景気回復に不透明感が生じており、国内の自動車や自動車用品を取り巻く市場環境もなお厳しく推移するものと見込まれます。このような経営環境下、当社グループは自動車用品卸売事業を中心に利益体質を強化して競争に勝ち残る所存であり、通期の連結及び単体の業績については以下のように見込んでいます。

(連結業績の見通し)

売上高 24,500百万円（前年比 +4.4%）
営業利益 450百万円（前年比 △5.2%）
経常利益 470百万円（前年比 △8.8%）
当期純利益 270百万円（前年比△13.5%）

(単体業績の見通し)

売上高 20,000百万円（前年比 +2.3%）
営業利益 385百万円（前年比 +0.1%）
経常利益 365百万円（前年比 +0.0%）
当期純利益 180百万円（前年比△11.9%）

当中間連結会計期間の事業セグメント別業績

●自動車関連卸売事業

自動車関連卸売事業の売上高は7,122百万円（前年同期比9.2%減）、営業損失は60百万円（前年同期は81百万円の営業利益）となりました。これは前年の記録的暖冬により春需展開が遅れた結果、アルミホイール等の売上高が減少して営業損失となったものです。前中間連結会計期間は春需展開が比較的順調であり、関係子会社スーパースターの在庫評価益等により営業利益が増加していましたが、当中間連結会計期間は前述の状況に加えてスチールホイール販売奨励金51百万円の営業外収益計上等によって営業損失となり、前中間連結会計期間対比大幅な減益となりました。

●自動車関連小売事業

自動車関連小売事業の売上高は846百万円（前年同期比16.1%増）、営業損失は29百万円（前年同期は3百万円の営業損失）となりました。売上高は、ジェームス浜松志都呂店の営業を本年4月に(株)タクシーから譲受けたため増加しましたが、営

業損失は営業譲受経費の増加等によって拡大しました。

●開発事業

開発事業の売上高は389百万円（前年同期比42.3%減）、営業利益は13百万円（前年同期比69.8%減）となりました。これは中央精機(株)向け機械納入が当下半期に変更となり減少したものであります。

●福祉事業

福祉事業の売上高は225百万円（前年同期比21.3%増）、営業利益は21百万円（前年同期比22.1%減）となりました。売上高は有料老人ホームの入居率上昇により増加しましたが、営業利益は人件費等運営経費の増加等により減少しました。

●その他

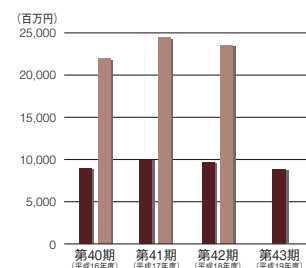
携帯電話代理店事業の売上高は426百万円（前年同期比53.6%増）、営業利益は13百万円（前年同期は4百万円の営業損失）となりました。これは山形県山形市等におけるソフトバンク3店舗の販売力強化によるものであります。

平成19年12月

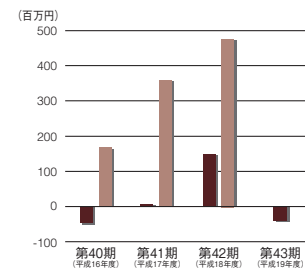
代表取締役社長 川口 修

連結 ■ 中間 ■ 通期

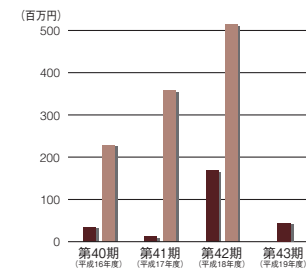
売上高



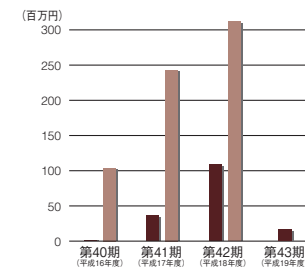
営業利益



経常利益



中間(当期)純利益



セグメント別売上高・営業利益（中間連結会計期間）

							消 去		計
		自動車関連卸売	自動車関連小売	開発事業	福祉事業	その他			
売上高	第43期中間	7,122	846	389	225	427	△113		8,897
	第42期中間	7,848	728	674	185	278	△96		9,619
営業利益	第43期中間	△60	△29	13	21	13	△1		△42
	第42期中間	81	△3	45	27	△4	1		148

● 中間連結財務諸表

43rd

中間連結貸借対照表 (要約) (単位：百万円)

科目	第43期中間 平成19年9月30日現在	第42期中間 平成18年9月30日現在	第42期 平成19年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	8,516	8,338	8,185
現金及び預金	311	589	747
受取手形及び売掛金	2,964	2,707	3,653
たな卸資産	3,715	4,129	2,734
繰延税金資産	48	37	44
その他	1,481	885	1,020
貸倒引当金	△4	△11	△15
固定資産	5,314	5,112	4,933
有形固定資産	3,398	2,938	2,967
建物及び構築物	1,785	1,682	1,645
土地	1,431	1,099	1,099
建設仮勘定	—	—	60
その他	181	156	161
無形固定資産	395	376	395
投資その他の資産	1,520	1,797	1,570
投資有価証券	830	859	860
繰延税金資産	23	23	21
その他	705	946	721
貸倒引当金	△39	△32	△32
繰延資産	3	5	4
資産合計	13,833	13,456	13,123

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	第43期中間 平成19年9月30日現在	第42期中間 平成18年9月30日現在	第42期 平成19年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	4,486	4,035	3,889
買掛金	1,358	1,636	1,038
短期借入金	2,499	1,666	1,886
その他	628	731	964
固定負債	2,765	2,949	2,578
社債	700	700	700
長期借入金	1,562	1,453	1,350
繰延税金負債	188	228	212
退職給付引当金	40	285	35
役員退職慰労引当金	123	123	116
その他	150	157	163
負債合計	7,251	6,984	6,468
(純資産の部)			
株主資本	6,200	6,034	6,214
資本金	852	852	852
資本剰余金	802	802	802
利益剰余金	4,545	4,379	4,559
自己株式	△0	△0	△0
評価・換算差額等	381	437	440
その他有価証券評価差額金	146	195	179
繰延ヘッジ損益	234	241	261
純資産合計	6,582	6,471	6,655
負債・純資産合計	13,833	13,456	13,123

中間連結損益計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第43期中間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	第42期中間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	第42期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	8,897	9,619	23,476
売上原価	7,035	7,668	18,874
売上総利益	1,861	1,950	4,602
販売費及び一般管理費	1,903	1,802	4,128
営業利益 (損失)	△42	148	474
営業外収益	116	52	113
営業外費用	30	30	73
経常利益	44	170	515
特別利益	—	34	91
特別損失	—	—	31
税金等調整前中間 (当期) 純利益	44	204	575
法人税、住民税及び事業税	10	60	300
法人税等調整額	16	34	△37
中間 (当期) 純利益	17	109	312

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
平成19年3月31日 残高	852	802	4,559	△0	6,214
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△31		△31
中間純利益			17		17
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額 (純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計			△13		△13
平成19年9月30日 残高	852	802	4,545	△0	6,200
	評価・換算差額等			純資産合計	
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高	179	261	440	6,655	
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当				△31	
中間純利益				17	
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額 (純額)	△32	△26	△59	△59	
中間連結会計期間中の変動額合計	△32	△26	△59	△72	
平成19年9月30日 残高	146	234	381	6,582	

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第43期中間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	第42期中間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	第42期 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△625	△992	△782
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△604	△295	△441
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	793	334	428
IV 現金及び現金同等物の増減額	△436	△953	△795
V 現金及び現金同等物の期首残高	747	1,543	1,543
VI 現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高	311	589	747

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

SUPER GT 第5戦 SUGOで ウェッズスポーツセリカが歓喜の優勝!!

当社のウェッズスポーツセリカは、本年7月28日開催されたスーパーGT選手権第5戦（宮城県スポーツランドSUGO）のGT 300部門で予選を8位で通過後、決勝では悪天候のなか見事に強豪チームを抑えて栄えある優勝を勝ち取りました。

またドライバーの“関口雄飛選手”（19才）は、このスーパーGT選手権の歴代最年少チャンピオンに輝き、今後益々の活躍が期待されます。

なお当レースでチームスタッフが着用していたウェアやサポートグッズなどをウェッズオフィシャルホームページ（weds.co.jp）にてネット販売しており、好評をいただいております。多くのサポーターのご用命をお待ちしております。



バーデン 自動車用品小売店3店舗目をオープン

子会社バーデンは中心事業として自動車用品小売店を運営していますが、本年4月1日にジェームス浜松志都呂店をオープンしました。ジェームス店としては浜松天王店に続き2店舗目、バーデンとしては3店舗目となります。



スーパースター 国分工場稼動について

高級品3ピースアルミホイールの生産を行っている子会社スーパースターは本年7月に大阪府柏原市に2つ目となる国分工場を建設して生産を開始しました。今後は本社工場と国分工場の分業体制により、更なる生産性向上と生産能力増強を目指してまいります。



会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社	東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階
設立	昭和40年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	134名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の販売

役員

取締役社長 (代表取締役)	川口 修
常務取締役	谷越 時義
常務取締役	山口 義弘
取締役	加藤 寛夫
取締役	大村 正夫
取締役	畑井 勇喜雄
取締役	伊澤 秀
常勤監査役	川崎 史博
監査役	嶺木 邦彦
監査役	小林 和夫

※取締役加藤寛夫氏は、会社法第2条第15号に定める資格要件を満たす社外取締役であります。

※監査役嶺木邦彦氏及び小林和夫氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■発行可能株式総数	17,780,000株
■発行済株式の総数	4,445,000株
■単元株式数	100株
■株主数	626名
■大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
ソシエテ ジェネラル エヌアールエイ エヌオー デイ テイ テイ	401,000	9.02
石原 勝 成	242,759	5.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	222,000	4.99
碧海信用金庫	130,000	2.92
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
ウェッズ従業員持株会	103,510	2.32
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野 肇	59,100	1.33

■株価推移

